

京の あじえんだ

のアジェンダ21フォーラム ニュースレター

季刊誌

2016

夏

第25号



京のアジェンダ21フォーラム総会	2
京都環境コミュニティ活動 (KESC) プロジェクト	2・3
KESエコロジカルネットワーク	4
祇園祭ごみゼロ大作戦	5
電力自由化に向けて	6



「アジェンダ21」とは「21世紀への検討課題」という意味。

「京のアジェンダ21フォーラム」では、市民・事業者・行政が力を合わせて環境と共生できるまちの姿を描いていきます。



KES エコロジカルネットワーク

生物多様性保全に関する取り組みを広げるため、京のアジェンダ21フォーラムが創設し、京都市内でも多くの企業や学校等が導入している環境マネジメントシステム「KES」の活動の中に生物多様性保全を取り入れて頂き、それらをネットワーク化することを進めています。

5月7日 上賀茂神社にフタバアオイを奉納しました

昨年フタバアオイを育成していた事業所が上賀茂神社に大きく育ったフタバアオイを株分けし、奉納しました。奉納したフタバアオイは京都三大祭のひとつ「葵祭」で使用されました。



KESエコロジカルネットワークでは今年度、育成の対象をフタバアオイ、フジバカマ、ヒオウギ、キクタンギクに加え、オミナエシ、カワラナデシコの2種類を増やし、計6種類の育成に取り組んで頂くことになりました。

フタバアオイは増えた株を上賀茂神社に返納すると葵祭で使われ、他の5種は希望する事業所は市内各所で実物展示などを行うことができます。

新たに育成対象となったオミナエシは京都府レッドデータで準絶滅危惧種、カワラナデシコは外来種の影響などで減少しており要注目種に指定されています。

オミナエシ

オミナエシは日当たりのいい草原などに自生している多年草です。成長すると1m以上になり、8～10月には枝先に黄色の粟粒のような小さな花を咲かせます。種をまいてから花が咲くまでには3年ほどかかります。



育成対象となっているフジバカマと同じく秋の七草として有名です。

カワラナデシコ

カワラナデシコは日当たりのいい草原や川原に育成する多年草です。高さ30～50cmになり、6～9月に花を咲かせます。花は花卉の先が糸状に細かく分かれており、色は淡紅色が一般的。育成の過程で、白色や淡紅色と白色がまざっているものもみられることがあります。



秋の七草のナデシコは本種のことを指します。

6月3日 参加団体説明会を行いました

今年度は約190社の事業所から育成のお申込みがありました。

説明会では取り組みの趣旨や具体的な進め方などをお伝えし、育成に向けての理解を深める場となりました。



KESエコロジカルネットワークの活動は3年目になります



今年度育成対象となった6種の植物

6月17日、24日 育成講習会を行いました

6種の植物の育成方法についての説明と講師による鉢への植えつけの実演の後、苗と資材のお渡しをしました。希望者はその場で鉢に植えつけを行い、自社にお持ち帰り頂きました。

Facebook <https://www.facebook.com/keseecologicalnetwork/>